

海外特別研究員 平成23年度中採用者一覧

農学 32名

平成24年3月1日現在

通番	採用年度	氏名	フリガナ	申請時所属機関	部局	職名等	分科	細目	研究課題名	派遣国名	受入研究機関名
1	22	浅井 秀太	アサイ シュウタ	名古屋大学	大学院生命農学 研究科	特別研究員 PD	農学	植物病理学	卵菌綱植物病原菌エフェクターの罹 病性誘導機構および防御シグナル伝 達抑制機構の解明	英国	センズベリー研究所
2	22	大池 秀明	オオイケ ヒデアキ	独立行政法人農 業・食品産業技術 総合研究機構	食品総合研究所	研究員	生活科学	食生活学	食品による生体リズムの調節と老化制 御への応用	米国	ウィスコンシン大学マディソン 校
3	22	川崎 賢太郎	カワサキ ケンタロウ	農林水産省農林水 産政策研究所	食料領域	研究員	農業経済学	農業経済学	農薬・化学肥料と環境支払に関する数 量経済分析	米国	メリーランド大学
4	22	栗原 新	クリハラ シン	京都市芸繊維大学 大学院	工芸科学研究科 応用生物学部門 微生物工学研究 室	産学官連連携研 究員	農芸化学	応用微生物学	尿路感染症菌プロテウス・ミラビリスの 病原型分化におけるポリアミンの役割 の解明	米国	エモリー大学医学部
5	22	嶋田 幸典	シマダ ユキリ	ヘルシンキ大学	生物環境科学 (Biological and Environmental Sciences)	ポスドク	水産学	水産学一般	魚類における淡水および低塩分適応 の分子メカニズムの解明	フィンラン ド	ヘルシンキ大学
6	22	飛松 裕基	トビマツ ユウキ	京都大学	農学研究科	特別研究員 PD	森林学	木質科学	モノリグノール配糖体による実験室的 脱水素重合のその場観察法の開発と 応用	米国	ウィスコンシン大学マディソン 校
7	22	中島 健一朗	ナカジマ ケンイチ ロウ	東京大学	農学生命科学	特任助教	農芸化学	食品科学	膵臓ベータ細胞におけるM3ムスカリ ン性アセチルコリン受容体の相互作用 分子の同定	米国	アメリカ国立衛生研究所
8	22	藤本 貴史	フジモト タカフミ	北海道大学	北方生物圏 フィールド科学セ ンター	博士研究員	水産学	水産学一般	サケ科交雑種を用いた高成長系統に おける高成長形質発現メカニズムの解 明	カナダ	カナダ水産海洋局
9	22	古川 和寛	フルカワ カズヒロ	早稲田大学	理工学術院先進 理工学研究科	特別研究員 PD	農芸化学	応用生物化学	試験管内分子進化法による細菌-宿 主間シグナル伝達におけるリボスイッ チ機構の探索	米国	エール大学
10	22	宮本 圭	ミヤモト ケイ	ケンブリッジ大学	ウエルカム・トラス ト癌研究センター ガードン研究所	リサーチアソシエイ ト	畜産学・獣医 学	応用動物科学	卵細胞内リプログラミング因子のスク リーニング手法の開発と機能解析	英国	ケンブリッジ大学
11	23	赤木 剛士	アカギ タカシ	京都大学	農学研究科	大学院生	農学	園芸学・造園学	植物異種ゲノム融合におけるゲノム障 壁・ヘテロシス発現機構に関する研究	米国	カリフォルニア大学デービス校
12	23	秋山 智彦	アキヤマ トモヒコ	東京大学	新領域創成科学 研究科	特任研究員	畜産学・獣医 学	基礎獣医学・基 礎畜産学	細胞分化調節機構におけるヒストン変 異体置換の関与	米国	国立衛生研究所
13	23	飯田 祐一郎	イイダ ユウイチロウ	独立行政法人農 業・食品産業技術 総合研究機構	野菜茶業研究所	研究員	農学	植物病理学	トマト葉かび病菌の寄生性を決定する エフェクター因子の機能解析	オランダ	ワグeningen大学
14	23	石川 亮	イシカワ リョウ	神戸大学	農学研究科	助教	農学	育種学	転写に共役したクロマチンサイレンシ ング: 将来の育種に重要となる形質発 現制御機構	英国	ジョン イネス センター
15	23	井上 亮	イノウエ リョウ	京都府立大学	生命環境科学研 究科	講師(常勤)	畜産学・獣医 学	畜産学・草地学	腸管上皮細胞のToll様受容体が仔ブ タの腸管免疫系の発達において果た す役割の解明	英国	アバディーン大学ローウェット 研究所
16	23	應本 真	オウモト マコト	東京大学	農学生命科学研 究科	特任助教	農芸化学	食品科学	脂質嗜好性に関与する量的形質座位 および責任遺伝子の同定	米国	モネル化学感覚研究所
17	23	小川 大輔	オガワ ダイスケ	名古屋大学	生物機能開発利 用研究センター	特別研究員	境界農学	応用分子細胞生 物学	コウリントンボボの自律的胚乳発生の 研究	オーストラ リア	オーストラリア連邦科学産業研 究機構

海外特別研究員 平成23年度中採用者一覧

農学 32名

平成24年3月1日現在

通番	採用年度	氏名	フリガナ	申請時所属機関	部局	職名等	分科	細目	研究課題名	派遣国名	受入研究機関名
18	23	小野 陽介	オノ ヨウスケ	東京大学	農学生命科学研究科	農学特定研究員	水産学	水産化学	ゼブラフィッシュの筋分化および筋形態を制御する転写ネットワークの解析	シンガポール	シンガポール国立分子細胞生物学研究所
19	23	堅田 元喜	カタケンキ	独立行政法人日本原子力研究開発機構	原子力基礎工学研究部門 環境動態研究グループ	研究員	環境学	環境動態解析	精緻な陸面モデルを用いた窒素負荷が及ぼす森林生態系への影響評価	ドイツ	カールスルーエ工科大学
20	23	加藤 洋一郎	カウ ヨウイチロウ	東京大学	農学生命科学研究科	助教	農学	作物学・雑草学	南アジアの乾季稲作におけるインド型品種の低温耐性機構に関する研究	フィリピン	国際稲研究所
21	23	神谷 岳洋	カミヤ タケヒロ	東京大学	生物生産工学研究センター	特任助教	農芸化学	植物栄養学・土壌学	シロイヌナズナ野生系統を用いた植物無機必須元素ホメオスタシスの解明	英国	アバディーン大学
22	23	北西 健一	キタニシ ケンイチ				農芸化学	応用生物化学	ビタミンB12細胞内輸送経路の解明	米国	ミシガン大学メディカルセンター
23	23	久米 一規	クメ カズノリ	広島大学	先端物質科学	助教	農芸化学	応用生物化学	細胞形態形成と細胞周期との連携制御機構	英国	英国癌研究所(ロンドン)
24	23	國分 互彦	クニブン ノブヒコ	情報・システム研究機構	国立極地研究所	研究員	環境学	環境動態解析	南極海沿岸域における海水変動パターンとペンギンの生態的応答に関する研究	オーストラリア	オーストラリア南極局
25	23	舘田 知佳	タダタ チカ	東北大学	生命科学	特別研究員	境界農学	応用分子細胞生物学	植物の病原菌防御反応ならびにプログラム細胞死制御因子ACD6の機能解析	米国	シカゴ大学
26	23	原村 隆司	ハラムラ タカシ	京都大学	理学	研究員	資源保全学	資源保全学	進化生物学的手法を用いた外来生物(オオヒキガエル)の新たな防除法の開発	オーストラリア	シドニー大学
27	23	前野 浩太郎	マエノ コウタロウ	独立行政法人農業生物資源研究所	昆虫-昆虫・植物間相互作用研究ユニット	特別研究員	農学	応用昆虫学	サバクトビバッタの相変異メカニズムの解明と新規防除法の開発	モーリタニア	国立サバクトビバッタ研究所
28	23	村上 晋	ムラカミ シン	東京大学	医科学研究所	特別研究員	畜産学・獣医学	応用獣医学	変異誘発スクリーニングによるリフトバレー熱ウイルスの増殖に関する宿主因子の同定	米国	テキサス大学医学部
29	23	八幡 穰	ヤワタ ユタカ	筑波大学	生命環境科学研究科	研究員	環境学	環境動態解析	微小流体デバイスによる動的栄養環境の再現と定着型微生物の炭酸ガス排出速度測定	米国	マサチューセッツ工科大学
30	23	吉田 健太郎	ヨシダ ケンタロウ	財団法人岩手生物工学研究センター	生命科学	研究員	農学	植物病理学	ジャガイモ疫病菌種群のエフェクター進化	英国	ジョン・イネス・センター
31	23	米澤 智洋	ヨネザワ トモヒロ	北里大学	獣医学部	講師(常勤)	畜産学・獣医学	基礎獣医学・基礎畜産学	プロラクチン受容体アイソフォームの発現変化がもたらす黄体の運命決定機構の解明	米国	カリフォルニア大学リバーサイド校
32	23	和田 慎也	ワダ シンヤ	東北大学	農学研究科	研究員	農芸化学	植物栄養学・土壌学	植物オートファジーによるオルガネラ分解と栄養素のリサイクル機構	スイス	チューリッヒ大学